■■■ 福祉社会学会 ニュースレター 第74号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.74

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第22回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について
(2月29日締切)
- 福祉社会学会・第22回大会 自由報告の募集について (4月30日申込締切予定)
- 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- 福祉社会学会・第22回大会の予稿集のホームページ掲載について
- 福祉社会学会・第22回大会シンポジウムのお知らせ
- 大学院生に対する学会大会発表支援について
- 『福祉社会学文献ガイド』刊行と若手研究者への配布について
- 理事会報告
- 新規会員の紹介
- 事務局からのお知らせとお願い

* 福祉社会学会・第22回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会第22回大会は2024年6月29日(土)・30日(日)に、津田塾大学(千駄ヶ谷キャンパス)にて開催予定です。大会のテーマセッションについてお知らせします。

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後1週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の3種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション
- (3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

※上記以外に、(4) 研究委員会企画テーマセッションが組まれる可能性があります。

(1)の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合、3月頃にニュースレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。

(2)は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込時に企画書(公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの)と一緒にご提出ください。

(3)は非会員を報告者に含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、その招聘に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・締切：2月29日（木）
- ・申し込み先アドレス：jwsaresearch2023-24★googlegroups.com(←★を@に変えてください)
- ・企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・テーマ（そのまま部会名となります）
- ・拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニューズレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッションに申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日を過ぎても返信がない場合は、研究委員会の大日義晴までご連絡ください（dainichi245★gmail.com）(←★を@に変えてください)

* 福祉社会学会・第22回大会自由報告の募集について

本年6月29日（土）・30日（日）に津田塾大学（千駄ヶ谷キャンパス）にて開催予定の第22回大会の自由報告募集のお知らせです。自由報告の申込と予稿集原稿の提出締切はいずれも4月30日（火）の予定です。申込と予稿集原稿の提出の締切が同一日程に設定されていますので、ご注意ください。メールに添付ファイルでの申し込みとなります。詳しくは次号ニューズレターでお伝えします。

なお、1報告にあたり登壇者は1名とします（連名の場合も）。報告日程の指定は原則として承りませんので、ご了承ください。

自由報告申し込みを検討される場合は、学会ニューズレターおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページにご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。

また、後述するように、第22回大会から予稿集は公開とします。あらかじめご了承ください。

学会WEBページのURLは次の通りです。<http://jws-assoc.jp/>

* 現在非会員で大会報告をお考えの方に

次回の本学会への入会承認は6月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

- (1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込締切時点の4月30日(火)必着で福祉社会学会事務局(〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 明治学院大学社会学部 米澤旦研究室)あてに入会申込書を御郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。
- (2) 同時に、大会報告申込み、申込要領に従って4月30日(火)までに研究委員会あてに申し込んで下さい。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。
- (3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。
- (4) 同じく4月30日(火)提出締切の予稿集原稿を御用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送り下さい。

9月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には6月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

***福祉社会学会・第22回大会の予稿集のホームページ掲載について**

第22回大会からは、予稿集をHPにて公開します。これまでは予稿集を見るためにはパスワードを必要としましたが、広く学会活動を知っていただくという目的から、今回からは公開とします。テーマセッションと自由報告にご応募なさる場合は、予稿集がHPにアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は配布いたしません。

***福祉社会学会・第22回大会シンポジウムのお知らせ**

第22回大会のシンポジウムは、以下に決定いたしました。奮ってご参加ください。

○テーマ

「人が生まれ育つのを社会的にどう支えるか——こども家庭庁の創設をうけて」

○趣旨

2023年4月のこども家庭庁の発足によって、これまで複数の省庁によって実施されていた施策が一元的に管轄されるようになった。この過程において「子ども」やその「家族」はいかなる存在として理解され、これからいかなる政策が展開されていくのだろうか。

本シンポジウムでは、関連する領域において子どもとその家族が直面している現代的課題を明らかにするとともに、こども家庭庁が掲げる「こどもがまんなかの社会」の社会的含意について、批判的観点も含めて議論する。

○登壇者(敬称略)

司会：山下亜紀子(九州大学)・畑本裕介(同志社大学)

- ・ 解題：畑本裕介（10分程度で子ども家庭庁の成立過程・政策としての課題等について解説）
- ・ 登壇者（ヤングケアラー）：澁谷智子（成蹊大学）
- ・ 登壇者（社会的養護）：安藤藍（千葉大学）・川瀬信一（一般社団法人子どもの声からはじめよう）
- ・ 登壇者（若者支援）：岡部茜（大谷大学）
 - ・ 討論者：土屋敦（関西大学）、相馬直子（横浜国立大学）

■大学院生に対する学会大会発表支援について

学会大会で報告する大学院生の支援を目的として、大会参加費を無料とします。大学院生が学会大会で筆頭報告者、もしくは、共同報告者となっている場合、当該報告者の大会参加費は徴収致しません。大学院生の皆様におかれましては、学会大会にふるってご報告ください。

■福祉社会学文献ガイド刊行と若手研究者への配布について

福祉社会学会では、20周年記念事業として『福祉社会学文献ガイド』を発刊いたしました。本書は福祉社会学の基礎的文献の解説と関連文献をまとめたもので、発刊の目的の一つは、福祉社会学に関心を持つ、若手研究者の新しい研究の土台となることにあります。本書の趣旨を鑑み、福祉社会学会では、若手研究者支援事業の一環として、若手会員に無償で配布することにいたしました。

対象は、「2011年度以降に修士課程入学、もしくは2013年度以降に博士課程入学の会員」（福祉社会学会学会賞規定）となります。

希望される会員は、下記のGoogle formのURLより、2024年2月15日までに必要事項を記入の上、申し込みを行ってください。

<https://forms.gle/DxoSu8tFipvpT3yv7>

※予算は、ゆとりをもって設定しておりますが、研究費等で購入できる会員は研究費での購入をぜひご検討ください。

■理事会報告

●福祉社会学会 2022年度 第2回理事会の議事録（一部省略）

2022年12月16日（土）、13時～、オンライン開催

出席者：阿部彩、上村泰裕、金成垣、鎮目真人、大日義晴、高野和良、寺田貴美代、藤間公太、三谷はるよ、三井さよ、米澤旦

●報告事項・審議事項

1. 第22回大会について

- ・ 第22回大会のスケジュールと開催方式について確認した。

2. 研究委員会報告

- ・ シンポジウムとテーマセッションの登壇者と内容について報告がなされた。

その他、以下を決定した。

- ・ 第22回大会の大学院生の非会員について、自由論題報告者を希望する場合は仮入会とする。

・シンポジウムの情報保障は、Zoomによる字幕の提供をベースとする。シンポジウム以外の情報保障も、必要に応じて申し出に対応する。

・保育サービスを用意し、学会が全額負担をする

3. 編集委員会

・第21号の編集状況について報告がなされた。

・B評価が下された投稿論文に関する取扱い(掲載可否等)を継続的な検討事項とすることが決定された。

5. 20周年記念事業委員会

・『(仮)福祉社会学文献ガイド』の発刊が報告された。

→委員会費を原資として、奨励賞規定を用いて若手会員に『福祉社会学文献ガイド』を配布することになった。
費用が、委員会費を超える場合は、予備費を用いる可能性があることが確認された。

6. 社会学系コンソーシアム

・2024年3月9日(土)に開催予定の「なぜ、社会的孤立は問題なのか?」の報告がなされた。

7. 社会政策関連学会協議会

・2024年3月9日(土)に開催予定の「学術の役割を考える—学問と社会の関係を問い直すための知恵」の報告がなされた。

8. 事務局からの報告事項と審議事項

・第21回大会収支について報告がなされた。

・1名の新規会員を承認した。

・第23回大会の開催校を会長・庶務理事を中心に検討することが確認された。

最後に、高野会長より閉会の挨拶がなされた。

■新規会員の紹介

理事会において以下の方の入会確認がなされました。(Web版では省略)

■事務局からのお知らせとお願い

ご所属や住所、メールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係(maf-ws★mynavi.jp) (←★を@に変えてください)までお知らせ下さい。

また、研究会情報は研究委員会：otaya@fc.ritsumei.ac.jp(←★を@に変えてください)までお寄せください。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局